

飼料用とうもろこし優良品種の現地検証

要約

県認定品種3品種について栽培特性を検証したところ、生育、収量については、梅雨入り後の不順天候下においても順調な生育及び十分な収量確保を確認できた。サイレージ発酵品質については、3品種ともに良好な結果となった。

○ 展示のねらい

収量の向上が期待できる県認定品種 P2105 (相対熟度 123)、P2307 (相対熟度 123)、KD731 (相対熟度 123) の栽培方法について実証を行う。

○ 主な成果

生育状況においては、稈長、着雌穂高は、P2307>P2105>KD731であり、供試3品種ともに倒伏は無く、折損はわずかに認められた。茎葉重、総重量はP2307、雌穂重、有効雌穂重はP2105が優れており、KD731は虫害がなかった。サイレージ発酵品質は、供試3品種とも良好であり、3品種ともに標準的な飼料成分と比して、CP及びNDF、ADFが低く、TDNが高かった。

表1 収量調査結果 (※調査日：8月22日、8月27日)

品種	収穫時の熟度	茎葉重 (kg/10a)		雌穂重(kg)		総重量(kg)		有効雌穂割合 (%)
		生	乾物	生	乾物	生	乾物	
P2105	黄熟前期	4,173	1,177	1,885	532	6,058	1,708	100
P2307	黄熟前期	5,003	1,386	1,641	455	6,644	1,840	67
KD731	黄熟前期	3,846	1,127	1,831	536	5,677	1,663	83
参考1	黄熟前期	3,161	743	2,688	632	5,850	1,375	60

表2 栄養成分 (サイレージ)

品種	DM (%)	水分 (%)	栄養価 (乾物中%、NIRS)					
			CP	EE	ASH	NDF	ADF	TDN
P2105	33.1	66.9	5.8	3.6	4.8	33.3	18.3	73.5
P2307	29.6	70.4	7.2	3.4	6.1	40.9	23.4	69.9
KD731	31.0	69.0	6.3	3.4	6.1	40.8	22.8	69.8
参考1	32.3	67.7	6.0	3.6	5.1	35.5	20.2	72.6
参考2	26.4	73.6	8.0	3.0	6.1	47.7	29.2	66.4

参考1：スノーデント110 参考2：日本標準飼料成分表

表3 発酵品質等

品種	PH	VBN比	発酵品質 (新鮮物中%)				V-SCOR	フリーク評点
			乳酸	酢酸	プロピオン酸	酪酸		
P2105	3.6	6.8	0.85	0.14	0.00	0.00	96	100
P2307	3.6	4.7	0.79	0.12	0.00	0.00	100	100
KD731	3.6	6.3	0.89	0.15	0.00	0.00	97	100
参考1	3.6	6.3	0.77	0.15	0.00	0.00	97	99

○ 今後の方向性

酪農家への情報提供により現地での活用について普及を図っていく。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：那須烏山市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315